



# Hitachi Koki

## 日立ベンチスタンド

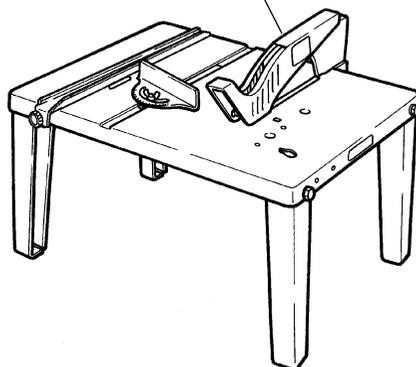
## FC7-BS

[接触予防装置(保護カバー)(労働省検定合格番号第D 234号)付]

### 取扱説明書

このたびは日立ベンチスタンド(接触予防装置(保護カバー)付)をお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、ご使用になる丸のこまたはジグソー本体の取扱説明書と一緒に、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

接触予防装置(保護カバー)



HITACHI

# 目 次

	ページ
ベンチスタンドの使用上のご注意	2
各部の名称	3
仕 様	4
用 途	4
組立て方と使い方	5
保守・点検	12
ご修理のときは	13
全国営業拠点	裏表紙

---

## 警告， 注意， 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」と「 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「 注」の意味も説明します。

 **警告**： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意**： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注**： 製品の据付け，操作，メンテナンスに関する重要なご注意。

# ベンチスタンドの使用上のご注意

ベンチスタンド(接触予防装置(保護カバー)付)として、次に述べる注意事項を守ってください。

## 警 告

- ① 組立は取扱説明書にしたがって確実に行ってください。
- ② 接触予防装置(保護カバー)は、身体がのこ刃に触れるのを防ぐものです。必ず、円滑に動くことを確認してください。
- ③ ベンチスタンドを必ず固定してください。また、丸のこを取付けて使用するときは、接触予防装置(保護カバー)を必ず取付けて使用してください。このようにしないと、けがの原因になります。
- ④ 切断時、材料に無理な力を加えたり、材料を急激に送り、本体に衝撃を加えないでください。モーターに無理がかかるだけでなく、ベンチスタンド、丸のこやジグソー本体が破損し、けがの原因になります。
- ⑤ 使用中、丸のこやジグソーが止まったり、異常音を発したときなどには、直ちにスイッチを切って、使用を中止し、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。
- ⑥ 誤って落としたり、ぶつけたりしたときには、ベンチスタンド、のこ刃、ブレード、丸のこやジグソー本体などに破損や亀裂がないことをよく点検してください。破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑦ 使用前に、丸のこやジグソー本体の取扱説明書を必ずよくお読みください。
- ⑧ 極端に切れ味の悪くなったのこ刃やブレードを無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。そのままお使いにならないでください。

## 注 意

- ① 丸のこを使用するときは、ブレーキ付のものを使用してください。ブレーキ付以外の丸のこを使用するとけがの原因になります。
- ② 材料の切断部に釘などの異物がないことを確認してください。刃こぼれやブレードの折損だけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。

**注** ・切断作業は、スイッチを入れた後、のこ刃やブレードが全速になってから行ってください。

# 各部の名称

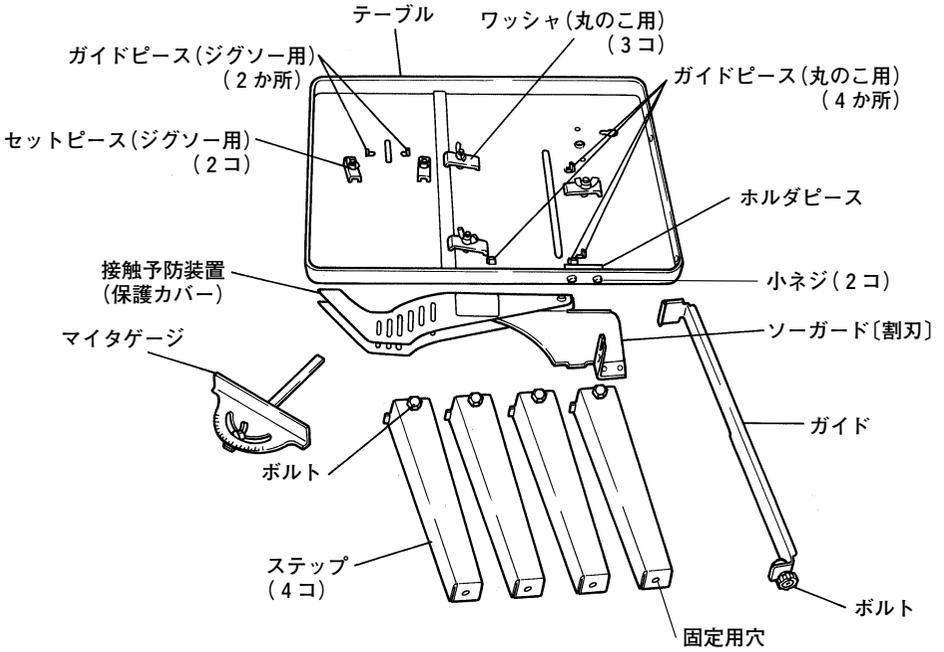


図 1

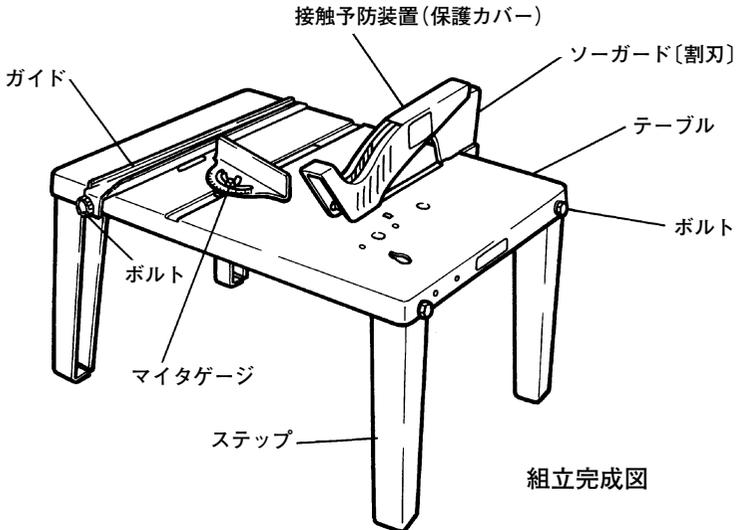


図 2

## 仕 様

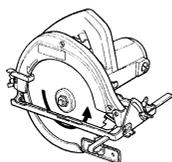
テーブル大きさ..... 443 mm× 353 mm

テーブル高さ..... 240 mm

丸のこののこ刃使用範囲..... 160 mm～ 190 mm

取付可能機種（\*印付は旧形機種です。）

### ● プレーキ付丸のこのおよび最大切込み



丸のこ FC 7BA

図 3 - 1

* FC 6BA	* FC 6B	* C 6BA	} 51 mm
* C 6BB	* PSB-6A	* PSB-6	

* FC 7BA	* FC 7B	* C 7BA	} 60 mm
* C 7BB	* PSB-7B	* PSB-7A	
* PSB-7			

**注** ・ のこ刃を傾斜させての使用はできません。

### ● ジグソー



ジグソー FCJ 55SA

図 3 - 2

* FCJ 55SA	* FCJ 55VA2	* FCJ 65V2
FCJ 65V	* FCJ 55	* FCJ 55VA
* FJ 50SB	* FJ 50VA	* FCJ 55V
* FJ-50A	* FJV-50B	* FJV-50A
* FJ-50	* FJV-50	* FJE-50

## 用 途

- 丸のこを取付け..... 各種木材の切断
- ジグソーを取付け..... 各種木材，鉄板およびプラスチック等の曲線，直線切断

## 組立て方と使い方

### ベンチスタンドの組立て……………

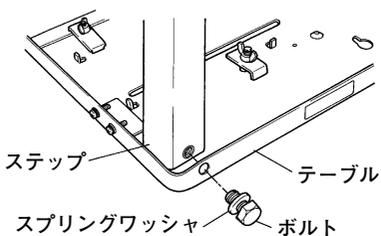


図 4

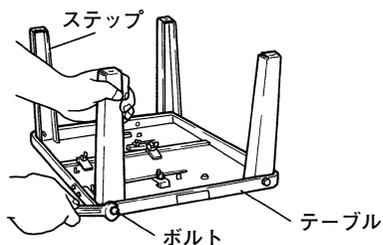


図 5

13 mm巾 (M 8 六角ボルト用) のスパナと  
プラスドライバ (No. 2) を用意してくださ  
い。

#### ○ステップを取付ける

ステップにねじ込んであるボルトをゆる  
めて、スプリングワッシャーとともにはず  
します。

テーブルの裏面を上にして置き、ステッ  
プをテーブルの内側にセットします。

(図 4)

次に 13 mm巾のスパナを使用してボルト  
を締め付け固定します。(図 5)

### ○定置用丸のことしてご使用になるとき

#### ⚠ 警 告

- 万一の事故を防止するため、必ず丸のこ本体のスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いてください。
- ボルト、ねじ、ちょうナットなどを確実に締め付けてください。ゆるんでいると、けがの原因になります。

### 1. 丸のこ本体を取付ける……………

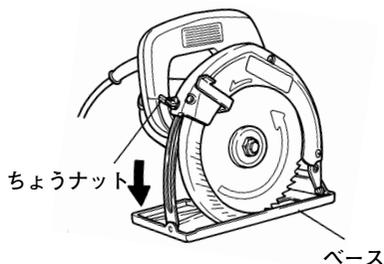


図 6

**注** • テーブルに丸のこを取付ける場合には、必ずのこ刃がベースに対して直角であることを確かめてから取付けてください。

(1) 丸のこのベースを調整し、切込みを最小にします。(図 6)

(ちょうナットをゆるめ、ベースを矢印の方向に押しと切込み量を調整できます。)

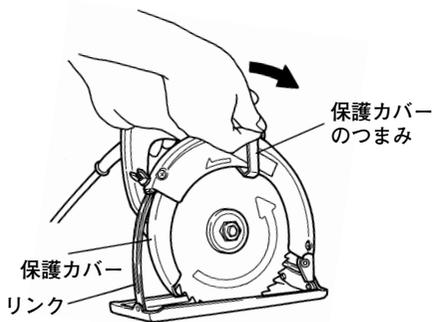


図 7

**注** ・丸のこに付属しているガイドは、定置用では使用しません。取りはずしておいてください。

(2) 保護カバーのつまみを矢印の方向に押しながら(図7), 丸のこのリンク側がテーブルのホルダプレート側になるよう、向きを合せてセットします。

この場合、テーブルのガイドピース(4か所)に丸のこのベース側面がぴったり付くように押しつけてセットしてください。(図8)

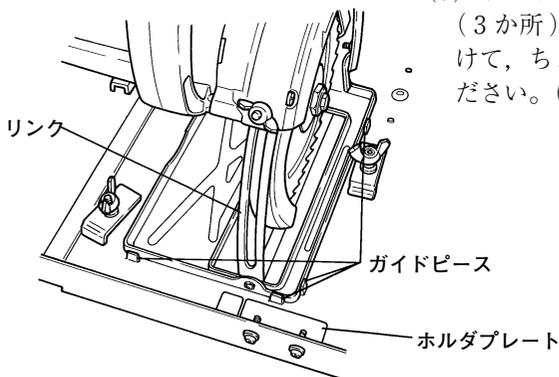


図 8

(3) テーブルに取り付けてあるワッシャ(3か所)の平面側を丸のこベースにかけて、ちょうナットを締めて固定してください。(図9, 10)

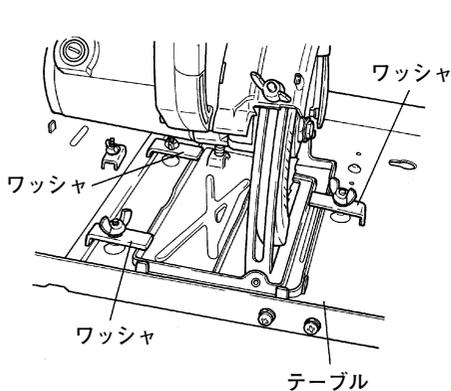


図 9

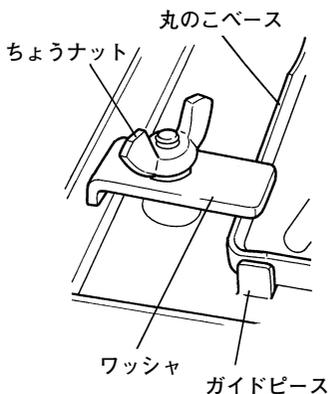


図 10

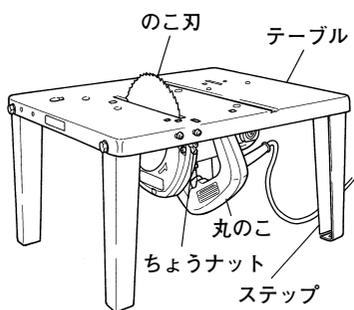


図 11

(4) テーブルを表側に返します。(図 11)

(5) 丸のこの切込み調整用ちょうナットをゆるめて丸のこを上押し上げ、切込みを最大にし、ちょうナットをしっかり締め付けます。(図 11)

## 2. 接触予防装置(保護カバー)を取付ける………

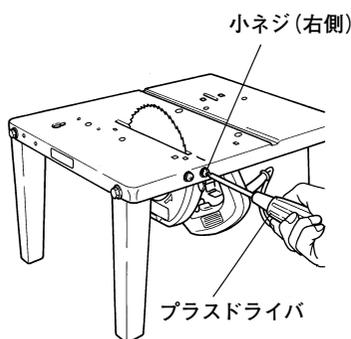


図 12

(1) ホルダピースがテーブルの内側に小ネジ 2本で締め付けてありますので、小ネジ 2本のうち、まず右側の小ネジを取りはずします。(図 12)

次に、左側の小ネジを途中まで(仮止め程度)ゆるめておきます。

(2) 接触予防装置(保護カバー)を取付けます。

まず、仮止め程度に取付けてある左側の小ネジにソーガード〔割刃〕を差し込みます。(図 13)

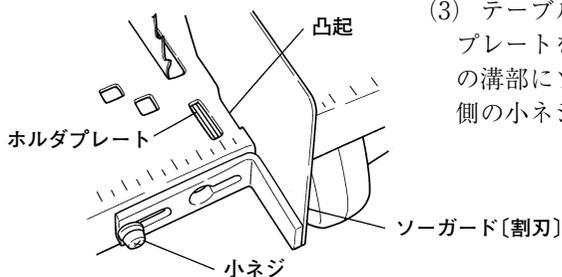


図 13

(3) テーブルの裏側に組込まれているホルダプレートを移動させながらホルダプレートの溝部にソーガードの突起を差し込み、右側の小ネジを軽く締め付けます。

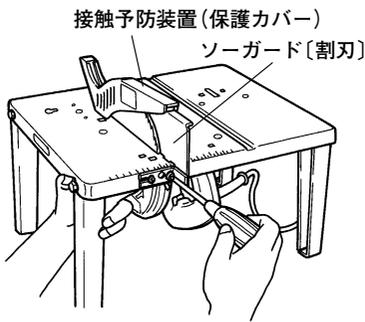


図 14-1

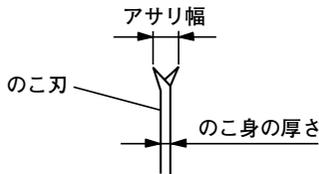


図 14-2

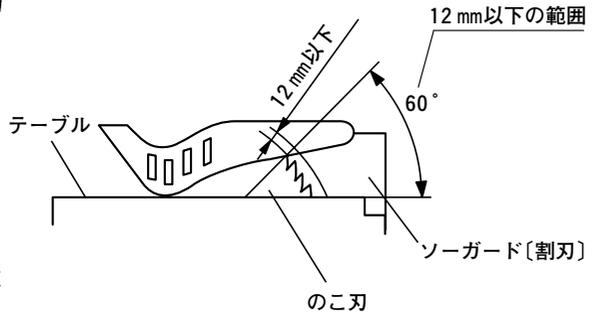


図 14-3

(4) 丸のこののこ刃とソーガード〔割刃〕が一直線になるように調整し、小ネジ2本をしっかり締め付けます。(図14-1)

### ⚠ 警告

- 本機のソーガードの厚さは1.4 mmです。アサリ幅が1.4 mmより小さいのこ刃、また、この身の厚さが1.27 mmを超えるのこ刃は使用しないでください。(図14-2)
- のこ刃とソーガード〔割刃〕の間隔がテーブル面より60°の範囲内で12 mm以下に調整できないのこ刃や、丸のこ本体の切込みを浅くして使用したりしないでください。けがの原因になります。(図14-3)

### 3. ガイドを取付ける…………

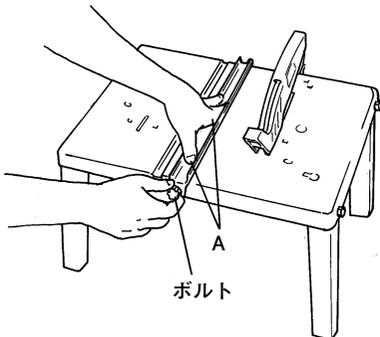


図 15

ガイドは、テーブル前面にボルトで取付けます。ガイドの方向は段のある方へのこ刃側にし、A部分を手で押さえながら、ボルトを締めてください。(図15)

- 注**
- ガイドを取付ける場合は、のこ刃と平行にして取付けてください。
  - 丸のこ作業では、溝のある側のテーブル面上で、ガイドは段のある方を使用します。

## 4. 使い方……………

### (1) 切断位置の調整

- ① ボルトをゆるめ、ガイドを左右に移動して切断寸法の調整をします。
- ② ガイドは、段のある方を使用します。

### (2) 切断の仕方

 警 告	
<ul style="list-style-type: none"><li>● 丸のこのスイッチを操作（「入」、「切」）するときは、のこ刃に注意してください。スイッチが、テーブルの下側になりますので、必ずスイッチのある箇所を確認して「入」、「切」の操作を行なってください。</li><li>● のこ刃が回転しているときは、絶対に手などを接触予防装置（保護カバー）の中に入れてください。けがの原因になります。</li><li>● ステップ下部には固定用の穴が設けてあります。床面に固定してください。固定しないで使用すると、けがの原因になります。</li></ul>	

加工材をガイドに軽く当てながら静かに前方へ押し進めます。（図 16）

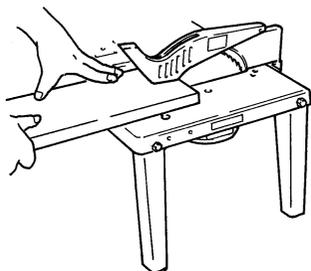
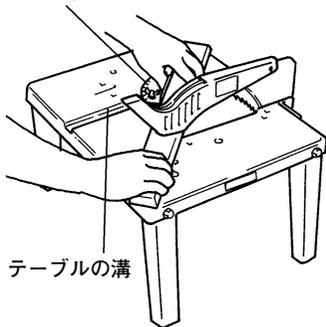


図 16

マイタゲージ



テーブルの溝

図 17

### (3) マイタゲージの使い方

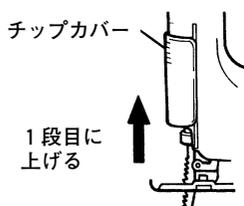
角度をつけて切る場合は、マイタゲージをご使用ください。

加工材をマイタゲージにぴったりと付け、テーブルの溝に沿って前へ進めます。（図 17）

○定置用ジグソーとしてご使用になるとき(傾斜切りはできません。)

1. ジグソーを取付ける…………

⚠ 警 告	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●万一の事故を防止するため、必ずジグソー本体のスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。</li> <li>●ボルト、ねじ、ちょうナットなどを確実に締め付けてください。ゆるんでいると、けがの原因になります。</li> </ul>	



FCJ55SA, FCJ55VA2, FCJ65V2  
FCJ55, FCJ55VA, FCJ65V

図 18

(1) FCJ55SA, FCJ55VA2, FCJ65V2, FCJ55, FCJ55VA, FCJ65Vの場合は、切りくずがたまらないように、チップカバーを上げた位置(1段目)にします。(図18)

(2) ベンチスタンドを反転し、のこ刃が下面に当たらないよう台の上に置きます。

(図20)

(3) FCJ55SA, FCJ55VA2, FCJ65V2, FCJ55, FCJ55VA, FCJ65V, FJ50SB, FJ50VA, FCJ55Vはテーブルのガイドピース(テーブルの突起部)とジグソーのベースの長穴を合わせ取付けます。(図19)

FJ-50A, FJV-50Bなどはテーブルのガイドピースにジグソーのベースを突当てて取付けます。

(4) ジグソーのベースにセットピースの平面部をのせ、ちょうナットを締め付けて固定します。(図21)

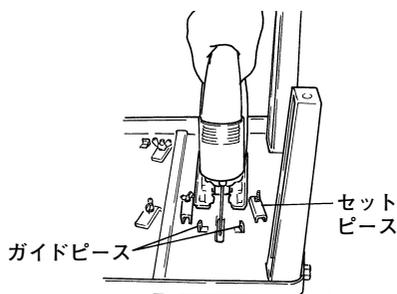


図 19

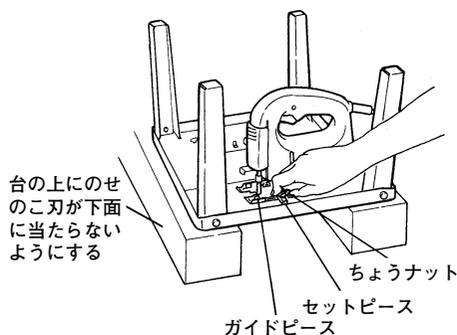


図 20

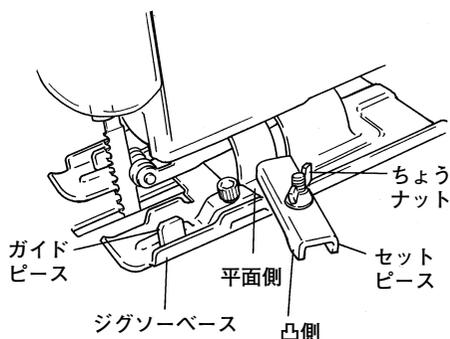
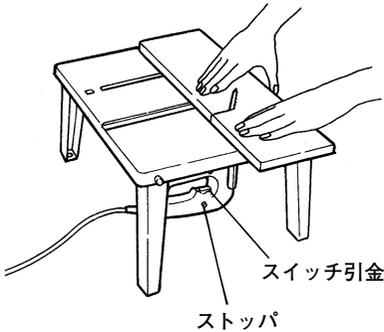


図 21

## 2. 使い方……………

### ⚠ 警 告

- ジグソーのスイッチを操作（「入」、「切」）するときには、ブレードに注意してください。スイッチが、テーブルの下側になりますので、必ずスイッチのある箇所を確認して「入」、「切」の操作を行なってください。
- ジグソーの運転中は、絶対に手などをブレードに近づけないでください。けがの原因になります。
- ステップ下部には固定用の穴が設けてあります。床面に固定してください。固定しないで使用すると、けがの原因になります。



- (1) ジグソーのプラグをコンセントにさし込みます。
- (2) 次にジグソーのスイッチを入れ、ストップを押して連続運転します。
- (3) 材料をテーブル上に押さえ、けがき線に沿って材料を押し進めると切断できます。

(図 22)

図 22

## 保守・点検

### 警告

- 点検・手入れの際は、必ず丸のこまたはジグソー本体のスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

#### 1. のこ刃やブレードの点検……………

### 警告

- 極端に切れ味の悪くなったのこ刃やブレードを無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。そのままお使いにならないでください。

のこ刃やブレードの切れ味が悪くなったのをそのままご使用になっておりますとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますから早めに目立てるか、新品と交換してください。

#### 2. 各部取付けネジの点検……………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

#### 3. 接触予防装置(保護カバー)の動作点検と保守……………

接触予防装置(保護カバー)はいつも円滑に動作するようにしておいてください。

なお、不具合のときは速やかに修理をするようにしてください。

#### 4. 製品や付属品の保管……………

作業後は、必ずベンチスタンドに取付けた製品のスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。また、使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- |   |  |   |                     |
|---|--|---|---------------------|
| { | <ul style="list-style-type: none"><li>○ お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所</li><li>○ 軒先など雨が降ったり、湿気のある場所</li><li>○ 温度が急変する場所</li><li>○ 直射日光の当たる場所</li><li>○ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所</li></ul> | } | このような場所<br>には保管しない。 |
|---|--|---|---------------------|

## ご修理のときは

この機体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

---

メ

モ

---

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	販売店
製造番号(No.)				電話番号

- 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

### ● 全国営業拠点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟)	☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目1番地1(日本生命札幌ビル)	☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号	☎(022) 288-8676(代)
東京支店	〒110-0016	東京都台東区台東四丁目11番4号(三井住友銀行御徒町ビル)	☎(03) 5812-6331(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号(コスモ栄ビル)	☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番	☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号(スノークリスタル)	☎(06) 4796-8451(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号(第一生命ビル)	☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒760-0078	高松市今里町一丁目28番14号	☎(087) 863-6761(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号	☎(092) 621-5772(代)

- 電動工具ご相談窓口 — お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター  0120-20 8822 (無料)

※携帯電話からはご利用になれません。(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

電動工具ホームページ — <http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

